

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

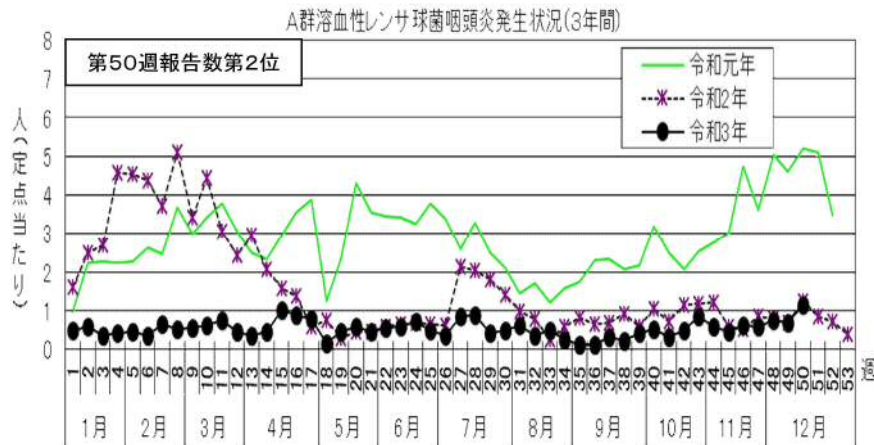
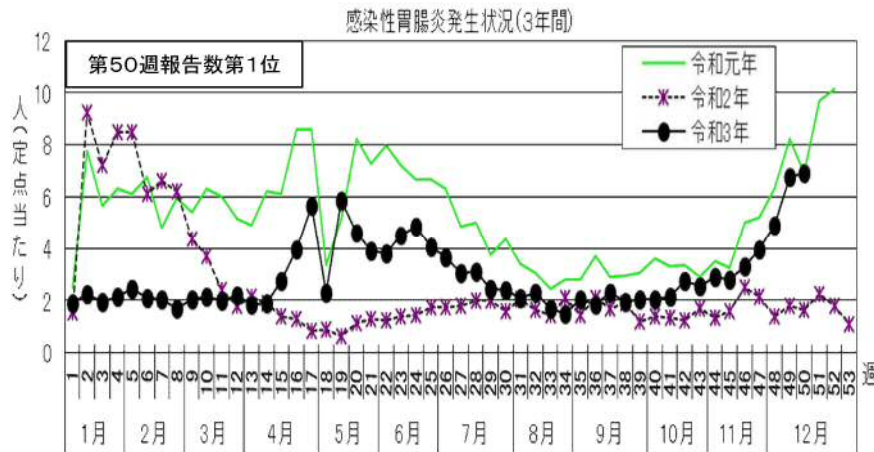
令和3年12月13日（月）～令和3年12月19日（日）〔令和3年第50週〕の感染症発生状況

第50週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 手足口病でした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は6.92人と前週（6.76人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は1.14人と前週（0.70人）から増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。

手足口病の定点当たり患者報告数は0.59人と前週（0.78人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

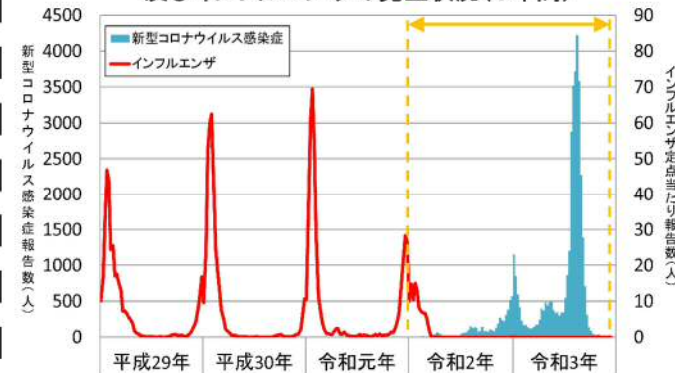


年末年始も感染症の予防対策の徹底を！

インフルエンザは例年冬に流行しますが、令和2年以降は新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、全国的に報告がほとんどみられなくなりました。これは新型コロナウイルス感染症の予防対策として、手洗い・手指消毒、マスクの着用などが徹底されたことが理由の1つと考えられます。同様にインフルエンザ以外の多くの呼吸器感染症も、昨年は報告数が減少していましたが、今年は徐々に増加しているものもみられます。

年末年始の帰省や旅行等に際しては、引き続き予防対策を徹底し、元気に新年を迎えましょう。

川崎市における新型コロナウイルス感染症及びインフルエンザの発生状況(5年間)



帰省や旅行の際の予防対策

手洗い・手指消毒



可能な限り混雑を避ける



マスクの着用



適切な予防対策がなされている飲食店を利用する

